

当院で膀胱全摘除術を受けた患者さんへ

当科では、現在膀胱がんで膀胱全摘除術を受けた患者さんの治療内容を調査し、以下の課題名の研究を行っています。

研究課題名：「膀胱全摘後の治療成績と生活の質（Quality of Life; QOL）の評価」

本研究は、四国がんセンターにおける膀胱がんの治療として膀胱全摘除術を受けた患者さんの治療成績および生活の質（QOL）調査を行うことにより、膀胱全摘除術の治療成績や手術後の QOL を解析し、診療の進歩・普及・適正化をはかることを目的としています。

本研究は「個人情報保護法」ならびに文部科学省、厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行なわれます。

集計データの結果は、学会や専門雑誌に公開し、膀胱がんの治療成績の向上、国民の健康増進 に役立つようにします。 個人情報が特定されることはありません。

本研究について、詳しい情報が必要な方は担当医に申し出てください。また個人情報の研究利用について不都合を感じられる患者さん あるいはご家族は担当医に申し出てください。このような場合には該当患者さんの情報内容は研究に利用いたしません。

研究責任医師：富田諒太郎

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター泌尿器科

791-0280 松山市南梅本町甲 160

Tel: 089-999-1111

Fax: 089-999-1100